

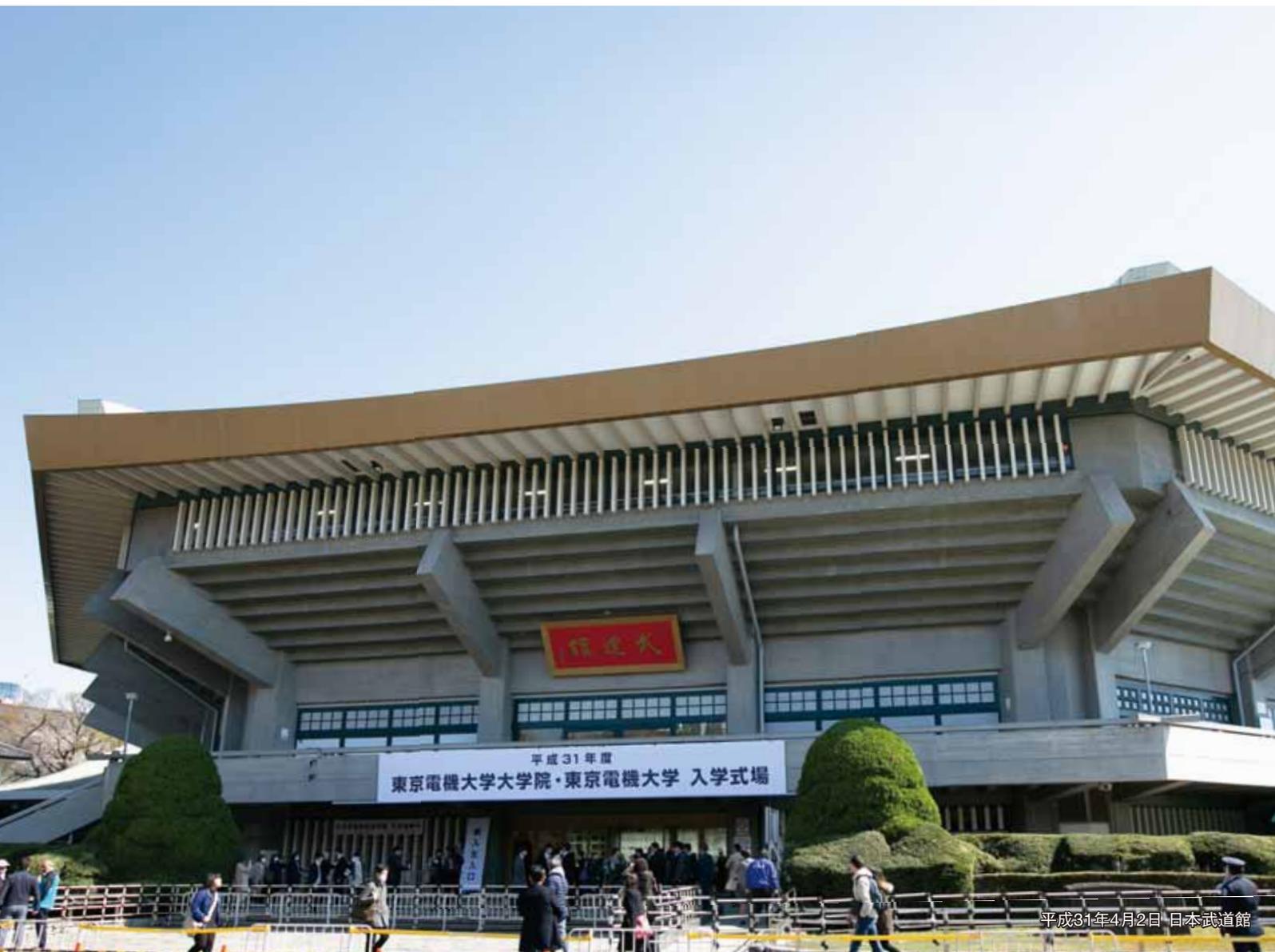
TDU *Agora*

特集

平成31年度 入学式を挙行
～2,629名が新たなスタート～…………… 1

CONTENTS

今月の顔 桑名健太 准教授(工学部 先端機械工学科) …………… 2	TOPICS …………… 5
キラリ★電大生 理工学部 模型部 …………… 3	キャンパスよもやま情報…………… 6
TDU LABO 知的空間情報研究室 (システムデザイン工学部 情報システム工学科)…………… 4	News…………… 6
	Information …………… 11





上から安田学長、加藤理事長、
宣誓する齋藤君と林さん

特集

平成31年度 入学式を挙行 ～2,629名が新たなスタート～

4月2日、日本武道館にて「平成31年度東京電機大学大学院・東京電機大学入学式」が挙行され、学部2,167名・大学院462名の新入生が、多くのご父母や教職員の祝福を受け、新たなスタートを切りました。

当日は朝から青空が広がり、日本武道館の満開の桜が華やかに咲き誇る中、新入生を迎えることとなりました。

はじめに、本学管弦楽団の演奏のもと、グリークラブによる校歌斉唱があり、全員の声の一つとなって会場内に響き渡りました。

次に、安田浩学長より新入生に向けて「技術者・科学者として、また人として、本学で課題発見能力・課題解決能力・異文化理解能力の3つの能力を研鑽し、自信と夢を持って挑戦を続けてくださるならば、必ずや高度な技術の専門家または優れた研究者に成長されることと確信しています」と式辞が述べられました。続いて、加藤康太郎理事長より「自分を磨くのは自分自身です。これからの大学生活では将来のことをじっくり考え、様々なことに挑戦してください」と祝辞が述べられました。

その後、新入生代表の理工学部理工学科情報システムデザイン学系の齋藤利紀君と未来科学部建築学科の林萌絵さんが、それぞれ「大学の発展、そして人間の未来の発展に貢献するために、目標を見据え、日々感謝の心を忘れずに精進して参ります」、「新たな学びの場

で会う仲間たちと夢の実現に向かって、ひとりひとりの力を限りなく伸ばせるよう着実に努力を重ねていきたいと思います」と宣誓しました。

最後に、管弦楽団がフランツ・フォン・スッペ作曲「『軽騎兵』序曲」を演奏し新入生の入学を祝しました。

式典終了後は、緊張した面持ちだった新入生に少しずつ笑顔が広がり、館外では参列したご父母や友人と記念撮影をする姿が見受けられました。新たな学生生活への輝かしい第一歩を踏み出した新入生たち。今後の成長が大いに期待されます。



安全・安心・快適な医療の実現に向けて ～手術支援デバイスの研究～



工学部
先端機械工学科
桑名 健太 准教授

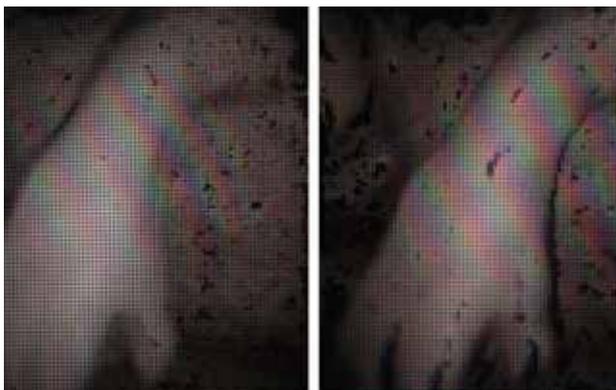


講義中の一コマ

外科医が安全に、安心して、 快適に治療を行えるよう工学技術で支援する

私の先端医療福祉工学研究室では、内視鏡下手術という手術で使うデバイスの研究を行っています。内視鏡下手術とは、体にあけた数個の小さな穴を通して、細長い棒形状のカメラや手術器具を使って治療を行う手術です。患者への負担が少なく、入院期間が短くなるという利点があります。一方で、使用するカメラや手術器具の特徴から、視野が狭い、奥行き感が得られない、触った感覚が得られない、操作可能な領域が制限される、といった課題があり、医師にとっては負担の大きな手術となっています。

そこで、医師の負担軽減に向けて「生来の人間の能力ではできないことをできるように支援する」、「本来やる必要のないことをやらなくて済むように支援する」という観点から研究に励んでいます。例えば、奥行き感のある観察を可能とする三次元表示内視鏡、触覚支援のための臓器の硬さ情報を提示可能なセンサ付鉗子システム、体内深部にある対象の処置を可能とするカセット型鉗子を用いた手術システム等の研究を行っています。システムを使用することとなる外科医師や試作を担当する企業の技術者の方々等、様々な背景をもつ多くの関係者と連携して機器を開発することは、とてもやりがいのあることだと感じています。



胎児モデルの三次元表示内視鏡画像

手術支援デバイス研究の難しさ・おもしろさ

手術支援デバイス研究には、工学研究者が実際の環境で自身が開発したデバイスを使用することが出来ない、という難しさがあります。そのため、外科医師とコミュニケーションをとることや、実際の様子を観察することは必要不可欠です。他分野の方々とのコミュニケーションは知識や考え方が大きく異なることからとても難しいことですが、一方で新たな発見もあり、おもしろい部分でもあります。

今後も臨床の医師だけでなく、多分野の方々と密に連携し、臨床の現場で実際に使える医療機器システムの研究を進めたいと思います。



センサ付鉗子



カセット型鉗子操作装置

桑名 健太 准教授 プロフィール (工学部 先端機械工学科)

Profile

- 2010年 3月 東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 博士課程修了 博士 (情報理工学)
- 2010年 4月 技術研究組合BEANS 研究所 Gデバイスセンター 研究員
- 2010年 10月 東京大学大学院 情報理工学系研究科 助教
- 2012年 4月 東京電機大学 工学部 機械工学科 先端機械コース 助教
- 2018年 4月 同 工学部 先端機械工学科 准教授



理工学部 模型部

「関東学生模型連合展示会」にて受賞 ～好きをかたちに！プラスチックモデルを製作～

部長 久能 巧(理工学部 情報システムデザイン学系 3年)



模型部は、現在31名(1年生4名(募集中)、2年生10名、3年生17名)。関東学生模型連合、鳩山祭の展示会の参加およびGBWC(バンダイ主催のコンテスト)に応募するために日々努力し、ガンプラ、船舶、戦車、航空機、メカモノ等、様々な種類の模型を作っています。

決まった活動日等は無く、作って楽しむ事をモットーに、毎日埼玉鳩山キャンパス9号館1階で授業の空き時間や休日など、各自好きな時間に活動しています。部員も初心者から上級者まで在籍しており、皆お互いに模型製作スキルを高め合いながら和気藹々とした雰囲気作品製作に取り組んでいます。また、今までとは

違うジャンルの物を作ろうと、クリスマス交換会を毎年行い、部員同士の交流の場を設けています。アットホームで各々のペースを大事にした親しみやすい部活となっています。

「関東学生模型連合」は関東にキャンパスを持つ大学のプラモデル製作サークルの合同展示会を行う団体で、13大学が参加しています。昨年行われた、第21回関東学生模型連合展示会では本学模型部の部員が、ガンプラMG部門銅賞、キャラクター部門銀賞、その他ロボ部門銀賞を受賞しました。

これからも部員同士が技術を高め合い、より良い作品づくりを目指していきたいと思ひます。

「関東学生模型連合展示会」受賞者のコメント

ガンプラMG部門 銅賞



作品名「サザビー出ます！サザビー発進！」

作者 | コッペパン

この作品は思い入れがあり、自分の模型製作3年間の集大成と言ってもいいかもしれません。塗装は今までの考えや経験をもとに、試行錯誤しながら作りました。展示会で多くの人に見てもらい銅賞という評価をもらい嬉しく思ひます。これからも模型製作を続け、今回の作品よりも良いものを作っていきたいです。

キャラクター部門 銀賞 その他ロボ部門 銀賞



作品名「仮面ライダーアマゾン」



作品名「魔人皇帝」

作者 | GTO

両作品とも模型製作の集大成といえるものであり、その他ロボ部門では塗装から台座までこだわり、キャラクター部門では2年生の頃に惜しくも銅賞だった作品のリベンジとして同じジャンルの作品にチャレンジし、持てる技術を詰め込みました。

その甲斐あって展示会では2部門で銀賞を頂き嬉しく思ひます。今後とも精進しより良い作品を創れるよう頑張っていきたいです。

知的空間情報研究室

～人が快適に生活できるスマート社会～

システムデザイン工学部 情報システム工学科
松井 加奈絵 助教



室内外の快適な生活サポートを目指して

IoT プラットフォームを通じて得たリアルタイム性の高いデータを、情報提示やデータ駆動型システムに用いることで、室内外の人間の快適性を担保し、サポートするためのシステムについて研究をしています。

例えば、電力消費量を計測するスマートメータをご自宅に設置されている方もいらっしゃると思いますが、これらのデータを用いて電力消費パターンを視覚化することによって「使用方法を変更しよう」などの意思決定のエビデンスとして使用できるようになります。また、ネットワーク対応空調と接続することで自動制御を行うことができるようになります。

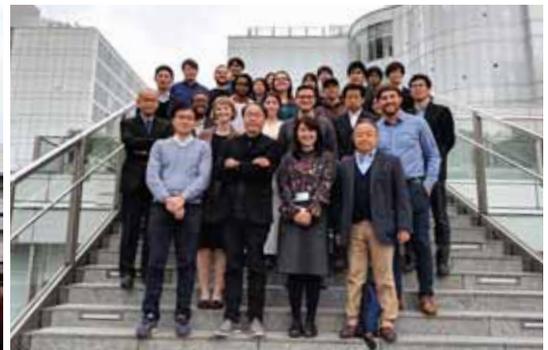
ひとつのデータのみでも利用方法は様々ですが、環境データと組み合わせることで人間が身体的にも、経済的、環境的にも「快適」なシステムを構築することを目的に、多種多様なデータをセンシングするためのIoTプラットフォームを開発、実証実験を重ねています。

国際交流を通じた人材育成

このようなIoTプラットフォームを利用して収集するデータは、スマートシティの大家である都市計画家マイケル・バティ博士が論じているように、都市づくりにも役立てることができそうです。

2014年には、私が参加していた埼玉県浦和美園地区のスマートコミュニティ計画にジョージア工科大学の学生が参加し、遠く離れたアメリカから彼らの提案するスマートコミュニティをプレゼンテーションするプロジェクトに協力しました。以来、今年度まで3回の日米共同ワークショップを開催しています。

このワークショップには、東京電機大学の学生も多く参加しました。これから社会に大いに貢献していくであろう学生の皆さんに、国際交流を通じた学びを提供できたことは、自分自身の成長につながりました。いずれは研究を進めているIoTプラットフォームを都市計画に利用していただき、人間中心の“暮らしていて快適”な場所を広めていきたいと考えています。



3月23日に本学 東京千住キャンパスにて行われた「東京における和風スマートシティ実現をめざすシステムデザイン成果発表会」

「電大ガールズ」D-girls

春休みが終わり新年度がスタートしました。

4月9日に新入生歓迎会が行われ、食事やゲームを楽しみながら電大ガールズと新入生が交流を深めました。オリエンテーションや新入生歓迎会などを通じて電大ガールズの活動を身近に感じていただけたら幸いです。

5月からは新入生を含めた活動が行われます。今年度も新たに活動の幅を広げていきますので、皆様のご参加をお待ちしております。



学食で行われた新入生歓迎会

工学部 応用化学科 3年 森田 彩乃



遠征メンバー

種子島ロケットコンテスト 審査員特別賞受賞

～CanSat部門で48チーム中3位の快挙～

TDU スペースプロジェクト

種子島ロケットコンテストは小型ロケットと模擬惑星探査機(CanSat)の大会で、毎年3月に種子島宇宙センターで開催されます。今年全国の大学や高校から300人以上が集まり、私たちが参加したCanSat部門では48チームがエントリーしました。競技では機体を地上から約50mまで上昇させた後、パラシュートで降下、着地し、外部から操作せず自律走行で目標地点に 가까이近づくかを競い、競技の結果と技術発表会のプレゼンテーションによって優勝チームが決まります。

今大会では「多くの人に挑戦する勇気を与える」というチームの活動理念達成のため、圧倒的スピードとタイムでゴールするという誰も挑戦していない目標を立てました。本番では、大会中最速の約1分で目標地点から約2mの地点でゴールし、48チーム中3位となり、技術発表会では興味を引く内容が評価され、ベストプレゼンテーション賞を受賞しました。

この成果によりチームが一步前進できたと感じた一方で、チーム内に様々な課題が存在していることも発見しました。今後はチームのために何が出来るかを考え、課題を克服し、9月にアメリカで開催されるARLISS 2019での優勝を目指します。これからも応援をよろしくお願ひします。



機体ゴール直後の瞬間



研修の様子

2018年度 春季海外短期研修

～4ヶ国に40人の学生が参加～

国際センター

本学の留学制度は、短期留学・文化研修と長期留学があります。短期留学・文化研修は、夏季や春季休暇を利用して、海外で語学を学び、文化を体験するプログラムです。語学や海外の文化に興味がある方に適した内容となります。一部の研修は必要条件を満たせば、英語の単位として認定されるものもあります。海外協定校等とのプログラムなので、海外経験がない人も安心して参加することができます。

2018年度は、5つの春季海外短期研修を実施しました。シドニー大学英語短期研修(オーストラリア)17名、イギリス英語短期研修11名、ケンブリッジ大学 Winter Science Programme(イギリス)7名、ENSMM PBL研修(フランス)3名、中原大学中国語研修(台湾)2名の計40名が参加しました。

学生から提出された報告書には、「外国語を学ぶだけでなく、日本との生活や文化の違いに触れ、視野が広がった」という感想や、「普段は控えめな学生が自分から積極的に人に話しかけることを心掛けた」という報告がありました。今後の学習に向けて良い刺激を受けてきたようですので、さらに意欲的に学んでいって欲しいと思います。



イギリス英語短期研修

東京千住キャンパス

2019年度 留学生オリエンテーション



3月28日、29日に本学留学生を対象としたオリエンテーションを実施し、約220名が参加しました。オリエンテーションでは、日本語テスト、宍戸本センター長によるガイダンスの他、留学生アドバイザーとの昼食懇親会を行い、アドバイザーと新入生、在生とが懇親を深めました。また、警察の方に協力いただいた今年度初めて実施の「留学生の生活に関する安全セミナー」では、日本での生活における注意点や犯罪に巻き込まれないためのポイント等について講話をいただきました。
(国際センター 岩淵)

埼玉鳩山キャンパス

ランチパック開発プロジェクト



本学は4人の学生が参加(東松山市役所にて)

本学が加盟している比企地域大学等連携協議会では、東松山市役所と山崎製パン(株)と連携し、「ランチパック開発プロジェクト」を立ち上げました。学生たちが東松山市特産の「栗」をイメージしたランチパックのパッケージデザイン・販売PRなどを行い、11月に実施されるイベント、日本スリーデーマーチでの販売を目標とします。埼玉県内のコンビニ等でも販売予定です。お見かけの際には是非、ご購入ください。
(理工学部事務部 飯田)

東京小金井キャンパス 中学校・高等学校入学式

ピッカピカの制服を着た新中学1年生と新高校1年生の入学式が、4月8日に本校体育館にて行われました。新入生は中学生150名、高校生268名の計418名。

朝からしとしと降っていた雨も、大勢の新入生が登校して来るころには止んで、校門前での記念撮影が始まりました。桜の花も、この日をじっと待っていたようにひらひらと花弁を降らせています。にぎやかな新学期が始まりました。

(中学校・高等学校事務室 中野)



漫画美術同好会による歓迎の黒板画

News

「第33回全日本DM大賞」金賞！

入試センター

2018年開催オープンキャンパスへの高校生来場促進を目的として本学の入試センターが制作したDM(ダイレクトメール)が、日本郵便株式会社主催の日本最大級ダイレクトメール広告賞「第33回全日本DM大賞」において、応募総数728点の中から金賞を受賞しました。

全日本DM大賞とは、戦略性・クリエイティブ・実施効果などにおいて、優れたDMを表彰する日本郵便株式会社主催のアワードです。

オープンキャンパスの来場者としては、総来場者数で昨年度比120%増の成果をあげることができました。今後も学生募集に貢献するDM制作を目指していきます。



全日本DM大賞贈呈式にて

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



安西 優貴さん(4年)
理工学部 電子・機械工学系(電子情報工学研究室)
電気学会 東京支部
電気学術奨励賞
平成31年3月31日



渡邊 優さん(4年)
情報環境学部 情報環境学科(マルチメディアコンピューティング研究室)
情報処理学会 第81回全国大会
学生奨励賞
平成31年3月16日



佐藤 晃佑さん(4年)
情報環境学部 情報環境学科(ソーシャルロボット研究室)
大島 直樹 助教
武川 直樹 教授
システムデザイン工学部 デザイン工学科
HAI シンポジウム2018
Outstanding Research Award 優秀論文賞
平成31年3月9日



石戸 健太さん(修士1年)
未来科学研究科 情報メディア学専攻(メディア応用研究室)
第13回 日本感性工学会 春季大会
優秀発表賞
平成31年3月8日



西嶋 千笑さん(4年)
未来科学部 情報メディア学科(メディア応用研究室)
第14回 日本感性工学会 春季大会
優秀発表賞
平成31年3月8日



TDU Space Project
第15回 種子島ロケットコンテスト
コスモテック賞(CanSat部門)
平成31年3月8日



井尻 政孝 助教
工学部 先端機械工学科
日本機械学会 中国四国支部
技術創造賞
平成31年3月7日



小室 佳生さん(修士1年)
工学研究科 機械工学専攻 機械工学コース(内燃機関研究室)
2018年度 自動車技術会関東支部学術講演会
ベスト・プレゼンテーション賞
平成31年3月6日



潮田 裕也さん(修士2年)

理工学研究科 電子・機械工学専攻(電子計測研究室)

電気学会 東京支部埼玉支所 第22回研究発表会

優秀論文発表賞

平成31年3月6日



中里 紀之さん(4年)

理工学部 電子・機械工学系(電子計測研究室)

電気学会 東京支部埼玉支所 第22回研究発表会

優秀論文発表賞

平成31年3月6日



清水 宣宏さん(修士2年)

工学研究科 機械工学専攻(機械加工学研究室)

実践教育訓練研究協会

平成30年度 優秀実践技術者賞(学生の部)

平成31年3月4日



古庄 こころさん(4年)

工学部二部 機械工学科(機械加工学研究室)

実践教育訓練研究協会

平成30年度 優秀実践技術者賞(学生の部)

平成31年3月4日



松永 拳さん(修士1年)

工学研究科 電気電子工学専攻 電気電子システムコース(デジタル信号処理研究室)

電子情報通信学会 東京支部学生会 研究発表会

東京支部学生奨励賞

平成31年3月2日



篠原 峻輝さん(4年)

情報環境学部 情報環境学科(先端ネットワーク技術研究室)

電子情報通信学会 東京支部学生会 研究発表会

東京支部学生奨励賞

平成31年3月2日



剣持 遼太郎さん(3年)

情報環境学部 情報環境学科(先端ネットワーク技術研究室)

電子情報通信学会 東京支部学生会 研究発表会

東京支部学生奨励賞

平成31年3月2日



東京電機大学

日本郵便株式会社 主催

第33回 全日本DM大賞

金賞

平成31年3月1日



井戸 航洋さん(修士2年)

工学研究科 物質工学専攻(分析化学研究室)

European Winter Conference on Plasma Spectrochemistry 2019(EWCPS2019)

The Royal Society of Chemistry Journal of Analytical Atomic Spectrometry Poster Prize

平成31年2月8日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時



「東京電機大学同窓会」半纏を作製

大学同窓会では4月20日に開催された、公開落語会「東京電機大学・千住日の出寄席」を機に、同窓会長の肝いりで“電大半纏”を12着作製しました。今回の「千住日の出寄席」や大学同窓会が主催するイベントだけでなく、大学や地域の各種イベントにも活用していきたいと考えています。



電機大学の文字を型取った粋なデザイン

出版局 新刊のご案内



3月の新刊は、電気・電子分野における高度技術書や教科書採用書、ロングセラーの改訂版を刊行。



ICT・IoTのためのアンテナ工学

川上 春夫・田口 光雄 著
A5判 216頁 3,456円

無線工学の中核であるアンテナの技術において、中心的な役割を担うアンテナの解析法とその技法に焦点をあててまとめ、さらにICTやIoTの応用例についても解説。



電気法規と電気施設管理 平成31年度版

竹野 正二 著
A5判 364頁 3,024円

電気関係の法令に重点を置き、電気関係の初学者向けにやさしく解説。また第2～第3種電験受験者が習得しておかねばならない基本的な事項をまとめた。

<電気基礎シリーズ> 東京電機大学編

最新のJIS規格への見直しとデジタル計測器の説明を充実。電気・電子工学の技術を学ぶために必要な電気磁気と電気回路を上下巻に分けて刊行。



新版 電気基礎 上
—直流回路・電気磁気・基本交流回路—
川島 純一・斎藤 広吉 著
A5判 280頁 2,916円



新版 電気基礎 下
—交流回路・基本電気計測—
津村 栄一・宮崎 登・菊地 諒 著
A5判 248頁 2,916円

学生だより

ケンブリッジ大学 Winter Science Programme

～理系特化の英語研修プログラムに参加～

理工学部 電子・機械工学系 4年(研修参加時)

川村 晋平



研修先の先生と

2019年2月24日から2週間、イギリスのケンブリッジ大学 Winter Science Programmeに参加しました。このプログラムは、通常の英語短期研修よりもレベルを上げた理系分野に特化した内容の英語による研修プログラムで、大学院生向けの内容となっており、学部4年生の大学院進学者も受講可能となっています。

研修へ参加した理由は、自分の英語力をもっとあげたいと思ったからです。昨年、理工学部の中原大学(台湾)のプログラムに参加し、初めて同年代の外国人と話しましたが、言いたいことがなかなか伝えられず、自分がうまく聞き取れないことで会話が続かなかったことをとても後悔しました。今回の研修では事前にNHKのニュースを英語で視聴し、英語で書かれた雑誌を読み、英語に触れるようにしました。

研修先のケンブリッジ大学は、大変落ち着いた雰囲気の中で日本とほとんど変わらず快適

に過ごすことができました。街並みは美しく荘厳で、料理もとても美味しかったです。

講義内容は、主に討論やケンブリッジの大学教授の話でしたが、どちらも専門的な英単語が用いられ、なおかつ教授の話すスピードが非常に速いので最初は聞き取ることが困難でしたが、2、3日すると8割ぐらひは理解できるようになりました。先生も丁寧に楽しく教えてくださいました。多くの人と会話することで考え方の違いや日本と異なる文化を知り、興味を持つことができました。

しかし、この研修に参加して改めて勉強不足だと感じました。聞き取ることができても逆に自分から発言するのがまだできてないと気づかされました。今後も英語をさらに勉強し、もっと会話ができるように極めたいと思います。

在学中に、海外経験を積むことは重要だと感じた研修となりました。

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.20

アルフレッド・ノーベル スウェーデン ● 1833年～1896年

ダイナマイトの発明、ノーベル賞を遺言

「人類に対して最も偉大なる貢献を
なしたる人物に授与するものとする」

ダイナマイト発明は、工事のためだった

父親の事業の失敗でロシアに移住した後、機械や爆発物の製造、合板発明で成功。家庭教師について化学や複数の語学を学びました。パリ、アメリカに学んでペテルブルグに戻り父の工場で働きましたが、クリミア戦争終結後に再び破産しスウェーデンに帰国。爆発物の研究をはじめ、少しの振動でも爆発する大変危険な液体ニトログリセリンのもち運びと取り扱いの安全化の研究に着手し、1867年に特許を取得。珪藻土を使ってより安全なダイナマイトを開発。50か国で特許を得て100近い工場で生産。世界中のトンネル工事や土木工事に使われました。ノーベルは大富豪となりましたが、ダイナマイトは戦争兵器として大量殺戮にも使用されるようになりました。



©TDU

ノーベルは自分の発明が武器に使われることに悲しみ、また兄が亡くなった際に新聞が自分と間違えて「死の商人、死す」と報道したことから、巨万の財産を基金とするノーベル賞の設立を遺言しました。国籍を問わず人類に多大な貢献をした人物に授与されます。現在は5部門+1分野が設けられ、授賞式はノーベルの命日である12月10日に行われます。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

湯たんぽを入れときました嫁の声
風抜ける干し大根の三浦かな
助くとも助けらるとも去年今年こそとし

明(井川明)

知多(絹川博之)

迺子(大園茂夫)

Information

オープンキャンパス開催案内

入試センター

オープンキャンパスでは、Webサイトや大学案内では伝えきれない“電大のリアル感”を感じられる様々なプログラムを用意しています。工夫をこらした学科・学系ごとの展示やワークショップ、普段見ることのできない研究室などを公開しています。

会場では多くの先輩学生や教授が皆さんの質問にお答えします。予約不要、入退場自由でお気軽にお越しいただけます。

是非ご来場ください。



開催日程

東京千住キャンパス 10:00～16:00 (9:30受付開始)

北千住駅東口(電大口)徒歩1分

●システムデザイン工学部 ●未来科学部 ●工学部 ●工学部第二部(夜間部)

6月16日(日)、8月3日(土)、8月4日(日)

埼玉鳩山キャンパス 10:00～16:00 (9:30受付開始)

東武東上線高坂駅西口 スクールバス8分

●理工学部

6月15日(土)、7月14日(日)、8月3日(土)、8月4日(日)

◎お問合せ 入試センター TEL:03-5284-5222



編集後記

5月1日、元号が「平成」から「令和」に変わります。万葉集から引用したという新元号には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように」という思いが込められているそうです。645年の「大化」から続く248回目の元号となる「令和」。伝統を繋ぎ、新しい時代もまた平和な日本であるよう心から願います。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。